

各位

一般社団法人ナレッジキャピタル
株式会社KMO

音楽は社会にどう寄り添ってきた？“音楽で”文化や歴史を紐解く面白さを体験！
SpringX 超学校「音『学』のススメ」開催

一般社団法人ナレッジキャピタル(代表理事:河口 洋一郎)ならびに株式会社 KMO(代表取締役:佐々木一洋)は、さまざまな分野のスペシャリストから「本物の知」を学び、ともに考え、対話するプログラム「SpringX(スプリングエックス)超学校」の今年度の開講講座をお知らせします。



SpringX 超学校は、イノベティブ人材の育成を目的として、幼児から大人まで幅広い年齢の方を対象に、大学、研究機関、企業などの専門家から、科学、芸術、文化、ビジネスなど、さまざまな分野の知を学び、感性を磨くプログラムです。

このたび、「音『学』のススメ」と題して、音楽を入口にして、その背景にある文化・歴史について学ぶ全8回の講義を無料で実施します。音楽は「聴く」「演奏する」という芸術表現にとどまらず、アメリカ大統領選挙を揺るがす力を持つほど社会や思想に影響力を持つ文化的な営みです。音楽を「モノ(作品)」としてではなく、人々の「コト(行為)」としてとらえることで、その地域の人々が持つアイデンティティの変遷や時代ごとの社会構造を読み解くことができます。

本講座は、脳科学、社会学、文学、アメリカ研究などの異なる学問分野の専門家が登場し、それぞれの視点から音楽の背景に迫ります。座学に加えて実演やワークショップも行うことで、音楽を切り口に文化を深く理解するプロセスを追体験できる、従来の知識習得にとどまらない独自のプログラムです。

時代が色濃く反映される人種・ジェンダー問題とポピュラー音楽との関わりは、カントリーという音楽ジャンルから紐解き、音楽が持つコミュニケーションの力を生演奏から体感し、脳と音楽の関係性について実際にドラムを叩いて検証するなど、趣向を凝らした実践的な学びを提供します。

ナレッジキャピタルは、今後もすべての世代の方に向けて、科学、芸術、文化、ビジネスなど、スペシャリストから直接学べる講座を順次開講してまいります。

以上

<SpringX 超学校「音『学』のススメ」開催概要>

開催日時: 【第1回】7月24日(金) 【第2回】8月29日(土) 【第3回】9月18日(金)
【第4回】10月20日(火) 【第5回】11月13日(金) 第6回から8回については順次公開

開催場所: グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル

参加方法: 公式サイトより要事前申込(参加費無料) ※オンライン開催分は申込不要

U R L: <https://kc-i.jp/activity/chogakko/music2026/>

※内容は変更になる場合があります。最新情報は、ナレッジキャピタル公式サイトをご参照ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般社団法人ナレッジキャピタル 担当:財満・西尾
電話 06-6372-6427/Mail press@kc-i.jp

※ナレッジキャピタルは、2013年4月に民間企業主体により開業した「グランフロント大阪」の中核施設です。「感性」と「技術」を融合し、「新たな価値」を創出する世界初の「知的創造・交流の場」として、開発事業者の出資により一般社団法人ナレッジキャピタルと株式会社 KMO が共同運営しています。

■2026年度通期プログラム「音『学』のススメ」

音楽を入口に、多分野の研究者や専門家によるトーク、実演、体験型プログラムを通して、その背景にある文化や歴史を学ぶ全8回の無料講座です。文化を深く理解していく過程を体感できる、従来の知識習得にとどまらない独自のプログラムを提供します。

※第5回以降のプログラムは今後順次公開



開催形式：会場開催ならびにオンライン配信(YouTube Live)

※開催形式は各回によって異なります。

講座概要 URL: <https://kc-i.jp/activity/chogakko/music2026/>

【第1回】アメリカ音楽の現在地—人種、ジャンル、政治 オンライン配信(YouTube Live)

今年2月に開催されたスーパーボウルのハーフタイムショーにプエルトリコ出身の世界的歌手バッド・バニーが出演し、英語ではなく全編スペイン語でパフォーマンスをしました。これがトランプ大統領を始め、一部に大きな反発を巻き起こしました。バッド・バニーはどのような音楽を奏で、アメリカの音楽史において、いかなるジャンルの潮流を代表するミュージシャンなのでしょう。

本講座では、19世紀末のアメリカ帝国主義まで遡りながら、現在のアメリカの音楽シーンでバッド・バニーの占める特異な位置について検討します。最終的に、ラテン音楽と黒人音楽の複雑な関係を再考することで、アメリカ音楽文化の「帝国性」を炙り出したいと思います。

<講師> 大和田 俊之 氏 慶應義塾大学 法学部教授／東京音楽大学 特任教授

専門はアメリカ文学、ポピュラー音楽研究。『アメリカ音楽史—ミンストレル・ショー、ブルースからヒップホップまで』(講談社)で第33回サントリー学芸賞(芸術・文学部門)受賞。他に『アメリカ音楽の新しい地図』(筑摩書房)、『ポップ・ミュージックを語る10の視点』(編著、アルテスパブリッシング)、永富真梨責任編集『カントリー・ミュージックの地殻変動—多様な物語り』(監修、河出書房新社)、長谷川町蔵との共著『文化系のためのヒップホップ入門1、2、3』(アルテスパブリッシング)など。2020~2021年ハーバード・イェンチン研究所客員研究員。



©林直幸

開催日時：7月24日(金)19:00~20:00

URL: <https://kc-i.jp/activity/chogakko/music2026/detail20260724.php>

【第2回】きこえる?ふるえる?みんなで見つける、あたらしい音楽のかたち:共遊楽器 会場開催

音楽は「耳で聴くもの」なのでしょう。実は、音は振動として身体全体で感じることができます。本講座では、障がいの有無にかかわらず一緒に楽しめる「共遊楽器」の体験を通して、音楽の新しい可能性を探ります。振動や光、触覚を用いた楽器にふれながら、「音ってなんだろう?」「演奏するってどういうことだろう?」を参加者みんなで考えます。小さなお子さまから大人まで、聴くだけではない、感じてつくる音楽の世界を体験するワークショップです。

<講師> 金箱 淳一 氏 楽器インターフェース研究者／Haptic Designer／神戸芸術工科大学 准教授

情報科学芸術大学院大学(IAMAS)修了後、玩具会社の企画、女子美術大学助手、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科研究員を経て、産業技術大学院大学創造技術専攻助教、現在に至る。障がいの有無にかかわらず、共に音楽を楽しめる「共遊楽器」(造語)を研究・開発している。作品「楽器を纏う」の開発経験を基に東京2020パラリンピック閉会式 演出協力、他クライアントワークも多数行う。作品「音鈴 - 信濃」「Vibracion Banco」は長野県立美術館に収蔵。



開催日時：8月29日(金)13:30~15:00

参加方法：公式サイトより要事前申込(参加費無料)

定員：30名

会場：ナレッジキャピタル カンファレンスルーム B08 (グランフロント大阪 タワーB 10階)

URL: <https://kc-i.jp/activity/chogakko/music2026/detail20260829.php>

【第3回】カントリーは誰の音楽なのか—人種とジェンダーから考えるポピュラー音楽

会場開催 オンライン配信(YouTube Live)

2024年、ビヨンセのアルバム『カウボーイ・カーター』がグラミー賞のカントリー部門でも最優秀賞を受賞し大きな注目を集めました。しかしカントリー音楽は、アメリカ南部の白人の音楽として発展してきたジャンルです。1970年代以降は保守的な白人の音楽として日米両国で認識されることが多くなり、ロックを中心とした音楽愛好者からは距離を置かれることも少なくありませんでした。なぜ今、黒人女性であるビヨンセがカントリー・アルバムを発表し話題になるのでしょうか。本講座では、カントリー音楽を通して、ポピュラー音楽のジャンルが、時代とともに変化する人種やジェンダーの概念と深く結びつきつつ形成されてきたことをともに考えます。

<講師> 永富 真梨 氏 関西大学社会学部メディア専攻 准教授

専門はポピュラー音楽研究、アメリカ文化越境史。18歳から現在もカントリーを歌う。2004年から2007年米国ナッシュビルの音楽出版社 Bluewater Music Services Inc.とアメリカーナ音楽協会 (Americana Music Association)に勤務する傍ら、現地でSSWとして力試しをする。帰国後同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科で博士(アメリカ研究)を取得。共編著に『クリティカルワード ポピュラー音楽』(フィルムアート社, 2023年)『カントリー・ミュージックの地殻変動 多様な物語り』(河出書房新社, 2024年)など。



開催日時: 9月18日(金) 19:00~20:00

参加方法: 公式サイトより要事前申込(参加費無料)

定員: 30名

会場: ナレッジキャピタル カンファレンスルーム C05(グランフロント大阪 タワーC 8階)

URL: <https://kc-i.jp/activity/chogakko/music2026/detail20260918.php>

【第4回】音楽は人をつなぐのか?—ハイチ音楽から考えるコミュニケーションの実践 会場開催

「音楽は人をつなぐのか?」という問いをハイチの音楽文化を手がかりに考える講演+実演プログラムです。ハイチの音楽家との生演奏を交え、コミュニティの中で育まれてきた音楽実践を紹介します。参加者には、その響きやその場の交流を通して、人と人との関係性が立ち上がる瞬間を体感していただきます。また、ハイチの歴史やヴードゥー文化にも触れながら、音楽を他者と関わり合いながら場をつくる「コミュニケーションの実践」として捉え直します。

<講師>

渡邊 未帆 氏 大阪音楽大学 ミュージックコミュニケーション 准教授

音楽研究者・実践者。東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、同大学院修士課程・博士課程修了。現在、大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻准教授、早稲田大学非常勤講師ほか。近年はハイチの音楽文化やコミュニティ形成に関心を持ち、現地でのフィールドワークを行う一方、国内外で音楽家との共同実践やワークショップ活動を展開している。



フランク・デジレ 氏 ミュージシャン

ハイチ・ポルトー＝フランス出身、19歳でアメリカへ移住後、ハイチ出身の子どもたちがアメリカの教育制度や地域社会に適応するための支援活動に携わる。音楽グループ「ASAKIVLE」を結成し、世界各地でハイチのルーツ・ミュージックを演奏。ヴードゥー文化に根ざした歌や打楽器、身体表現を通して、共同体の記憶や伝統を継承している。近年は日本でもライブやワークショップを展開し、国際的な文化交流活動を行っている。



開催日時: 10月20日(火)19:00~20:00

参加方法: 公式サイトより要事前申込(参加費無料・8月20日(木)14:00より受付開始)

定員: 30名

会場: The Lab.みんなで世界一研究所内 アクティブスタジオ(グランフロント大阪 北館 2F)

URL: <https://kc-i.jp/activity/chogakko/music2026/detail20261020.php>

【第5回】ドラムが教えてくれる、誰も置いていかない場のつくり方 会場開催

ドラムは、人を選ばない楽器です。重度の認知症の方も、筋力が落ちた高齢者でも、子どもも、叩けば必ず音が返ってきます。マレット(バチ)がドラムから跳ね返るので、力がなくても叩き続けることができます。リズムに合わせる力は、聴くだけでいいんです。誰かのリズムを耳にしていれば、身体は自然とそこに乗っていきます。みんなと一緒に叩けば、自然と演奏ができます。これまで、特別養護老人ホームや高齢者施設で続けてきたドラム研究の結果を紹介しながら、人を選ばない場をどう設計できるのか、実際にスティックを握って叩いてみるワークショップで一緒に考えてみましょう。年齢も経験も不問です。

<講師> 宮崎 敦子 氏 東京大学先端科学技術研究センター 身体情報学分野 特任講師 医学博士

医学博士。東京大学先端科学技術研究センター 身体情報学分野 特任講師。東北大学大学院 医学系研究科 脳機能開発研究分野 博士課程修了。国立研究開発法人 理化学研究所 情報システム本部 計算工学応用開発ユニット 研究員を経て現職。脳と音楽の関係、ドラムを用いた認知症予防・改善プログラム開発などの研究を行なっている。また、ダンス・ボーカルユニット TRF と共同で健康長寿プログラム DVD「リバイバルダンス」の開発も行なっている。Dr.DJ.ATSUKO 名義で長年 DJ 活動をしている。著書に『すごい音楽脳』(すばる舎)。



開催日時: 11月13日(金) 19:00~20:00

参加方法: 公式サイトより要事前申込(参加費無料・9月14日(月)14:00より受付開始)

定員: 30名

会場: The Lab. みんなで世界一研究所内 アクティブスタジオ(グランフロント大阪 北館 2F)

URL: <https://kc-i.jp/activity/chogakko/music2026/detail20261113.php>

【ナレッジキャピタル施設概要】

施設名	ナレッジキャピタル	
所在地	〒530-0011 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館	
施設案内	The Lab. みんなで世界一研究所 (アクティブラボ・カフェラボ・イベントラボ)	地下1階~3階
	フューチャーライフショールーム	1階~6階
	SpringX	2階
	ナレッジシアター	4階
	ナレッジサロン	7階
	コラボオフィス・コラボオフィスネクス	7階~8階
	カンファレンスルーム	8階・10階
	ナレッジオフィス	9階~13階
	コンベンションセンター	地下1階~地下2階
運営組織 代表者	一般社団法人ナレッジキャピタル 株式会社 KMO	代表理事 河川 洋一郎 代表取締役 佐々木 一洋
事業者 (五十音順)	NTT 都市開発株式会社 NTT 都市開発プライベート投資法人 株式会社大林組 オリックス不動産株式会社 関電不動産開発株式会社 ジャパンエクセレント投資法人 ジャパンリアルエステイト投資法人 積水ハウス株式会社 株式会社竹中工務店	中央日本土地建物株式会社 東京建物株式会社 日鉄興和不動産株式会社 日本プライムリアルティ投資法人 阪急電鉄株式会社 阪急阪神リート投資法人 三菱地所株式会社 三菱倉庫株式会社